

事業名	音色ってナニ！？音楽＆アート体験教室
-----	--------------------

【当初計画の事業目的(取組課題)と実施効果】

■事業目的■ 音色ってナニ！？ねいろ？おんしょく？各会場の広さに応じた音楽家の生演奏を間近で体感しながら、その「音楽」や「演奏」の感じたままを、シルクスクリーンでトートバッグや T シャツに描画して、世界でたった一つのオリジナルグッズ作品の創作にチャレンジします。

上手に仕上げることを目的とせず、子どもたちは感じたままに自己の感覚を創作表現する手法を学びます。障がい児も、また障がい児と同じ場所を共有する機会が少ない健常の子どもも、世代、年齢を超えて同じ場所で生演奏を体感し創作表現することで、音楽＆アートで広がる新しい世界へと視野が広がります。

■発展 / 拡充等事項、取組課題■

昨年度まで実施の「音を絵にしてみよう！子どもたち＆障がい児の為にジャズでアートチャレンジ教室」は、演奏音楽＝Jazz に限定していました。また画材/技法は、子どもたちに馴染みが多い「クレヨン、絵の具」で画用紙への描画でした。今回申請の活動は、演奏音楽＝ノンジャンルでのパフォーマンスを取り入れた総合エンターテインメントです。参加者は「演奏を聴く」から「パフォーマンスを体感する」へと発展します。そして画材/技法は、学校の授業等では決して経験出来ないシルクスクリーン(サン描画)でのトートバッグや T シャツへの描画創作にチャレンジします。

シルクスクリーン(サン描画)とは、孔にインクを通して印刷する“孔版印刷”です。メッシュ状の版にインクを通過させる孔（あな）と通過させない部分を作り、版の上にインクを乗せ、スキージーというヘラのようなもので孔の部分にだけインクを押し出して印刷するととてもシンプルな印刷方法です。



小さいころから親しんだクレヨン、絵の具での描画では無く、集中力を要するシルクスクリーンによる唯一無二のオリジナルグッズ創作と言う「目的」はこれまでの活動とは大きく違った「新たな目的」となり、参加の子どもたちや付き添いの保護者さまにとっても初体験の「新たなプログラム」と成り得るでしょう。

「PDCA サイクル」の観点からは、「Plan(計画)、Do(実行)」で続けてきた活動でしたが、「Check(評価)」として、昨年度までの子どもたちを見ていると、クレヨンや絵の具だけでの描画には慣れて来た様子も見受けられました。その一方で、保護者さまや関係福祉員の方々からの「生演奏と描画を身体で感じる体験は、本人の心の深いところに繋がっていたように思います。ありがとうございます！」や「障がいの有無を問わずいろんな人が同じことをしていて、その中でみんなから認められるってとても自信になるし、ステキな機会になっています。」等の声を更に Action(改善)するべく、アートパフォーマンスとして様々な工夫をこらした技法(※上記ノンジャンルでのパフォーマンスやシルクスクリーン)へのチャレンジへと大きくベクトルを修正して前進した活動への発展を目指します。

【実施効果】

①生演奏を体感して創作活動にチャレンジすることで「夢」や「希望」を知覚する。 ②障がい児本人が、自分自身の持つ、文化・芸術の可能性に気付き、思い浮かんだ夢を諦めることなく、未来に希望を持てるようになる。 ③文化・芸術が持つエンターテインメントとしての「楽しみ」「気分転換」「気晴らし」「遊び」「息抜き」等が、そのパーフォーマーである障がい児のみならず、周りの家族や仲間をも含め、たくさんの人々に笑顔をもたらす。

音楽や美術を介して自分の気持ちを伝える、他者を理解する、の双方向の大切さを学びます。文化芸術の「作品」としての結果が目的では無く、そこに至る迄の集団形成や協調、協働経験や経過に重点を能力向上の学習をします。それは大規模児童数の学校や外国人児童生徒の編入学が多い川崎市内の学校での多様な問題点を減らす為にこそ、子どもたちにとっては本事業を実施することでの効果が強く期待出来ます。

【実施結果(成果)】

【実施時期・場所】

①

■開催日

2023年11月18日(土)

13:00 開場 / 13:15 開演 開講 / 15:30 終演 終講予定

川崎市立田島支援学校 体育館(川崎市川崎区田島町 20-5)

■参加人数

・子ども(障がい児):0名、保護者/付添:0名

(※当日体調不良者が数名出てしまい、事前申し込み団体等からキャンセルがあり、急遽開催中止)

◎申込フォームからの事前の申し込みは「3組4名」、田島支援学校の卒業生から「8名」、近隣小学校の取りまとめて頂いた方から「7名」、計:19名の事前参加を予定していた。

開催日当日の午前中は、田島支援学校の「卒業生お楽しみ会」が、本活動と同じ開催場所の体育館を会場として実施された。しかし、午後は体調不良による参加キャンセルが相次ぎ、感染症等が流行している時期でもあったことから、やむなく今回は中止を決定せざるを得なかった。



AM「卒業生お楽しみ会」の様子 パラアート中止決定時の様子

②

■開催日

2024年2月4日(日)

13:00 開場 / 13:15 開演 開講 / 15:50 終演 終講

川崎市立宮崎台小学校 体育館(川崎市宮前区宮崎 3丁目 18-2)

■参加人数

・子ども(障がい児):21名、保護者/付添:25名

◎今年度の開催に於いても応募者が多く、ニーズが感じられた。

が、実施日近くにインフルエンザの流行が重なり、体調不良や発熱等で参加を断念した子どもが4名に及んだ。

※申し込み多数により「電子抽選」を実施。新規の参加申し込みは、3/4を超えていた。

【事業内容】

■パフォーマンス・ショータイム

「YKG Unit」による生演奏 & パフォーマンスを披露。

その演奏の中で、全国の施設&学校等でアートワーク教室を開催するデコピン氏が、シルクスクリーン(サン描画)で実際に創作し販売している作品を解説しながらのガイダンスパフォーマンス。

■創作チャレンジ教室

参加者は、シルクスクリーン(サン描画)にて、トートバッグやTシャツへの描画創作にチャレンジ。

■発表タイム

時間の許す限り、各班の創作アートを、会場前方で発表。講師はそれらの創作アートのどこが素敵だったか、どこをどう変更すれば更に良くなるか等のレクチャー。短い時間の中でも創造性を育み、仲間に発表する喜びも体感出来た。

★※ADHD、ASD 等の関係でじっとしていられない子どもや、音に過敏：演奏の楽器やその種類、旋律によってはそれが流れている間、拒否してしまう子等の為に、会場の体育館と別途に、体育館前会議室をお借りして、そこに机や椅子、簡単な遊戯道具とスタッフを配置して、一時的に会場から避難出来るよう用意していた。

該当が予想されるこの保護者さまには受付時にそれらを前もってご案内していた。

結果、そちらの部屋を利用するご家族は 3 組(入退場は随時)いらっしまった。

■チラシ&ポスター配架場所と枚数

・「市内の公共施設へ配布できるリスト」チラシ配架：280 枚

・「市内の公共施設へ配布できるリスト」ポスター配架：12 枚

・川崎市文化財団 チラシ配架：720 枚

・川崎市文化財団 ポスター配架：8 枚

・田島支援学校チラシ配架：300 枚

・田島支援学校ポスター配架：10 枚

・宮崎台小学校チラシ配架：900 枚

・宮崎台小学校ポスター配架：10 枚

・宮前平小学校チラシ配架：800 枚

・宮前平小学校ポスター配架：5 枚

※チラシ計：3,000 枚、ポスター：35 枚、残及び余剰分は適時使用

【実際の効果と課題】

11/18 の当日中止に関しては、講師/アシスタント、バンドメンバー、スタッフ含め全員が今も尚無念でならない。

だが、新型コロナウイルス感染症を経た今、インフルエンザやプール熱(咽頭結膜熱)等の流行や、それらを伝える報道には保護者さまや付き添いの方はとても敏感にならざるを得なく、子どもに少しでも何らかの兆候があらわれると、密な場所、大人数が集まる場所への参加を避けることは仕方ないと感じている。インフルエンザ等の流行時期を予測して、開催実施の時期を組み立てることも当然行っては来たが、それらの流行時期は到底予測不可能で、不可抗力だとは思いますが、今後の課題として引き続き検討していくしか無いのかもしれない。

2/4 の実施に於いては、ギター、バイオリン、キーボードの 3 名編成による「YKG Unit」の演奏音楽＝ノンジャンルでのパフォーマンスを取り入れた総合エンターテインメントで、会場を温かい音楽で包むことが出来た。

また、それらの音楽をバックに、子どもたちは学校の授業等では決して経験出来ないシルクスクリン(サン描画)でのトートバッグや T シャツへの描画創作に、夢中でチャレンジしていた。その行程には、「PDCA サイクル」の観点からの、①「Plan(計画) → 下書き」、②「Do(実行) → サン描画」、③「Check(評価) → 作品(トートバッグや T シャツ)のチェック」、④「Action(改善) → 他者への発表と次回への展望」も各参加者は保護者や付き添いの方と共にしっかりと取り組んだ。

それらの過程で、<生演奏を体感して創作活動にチャレンジすることでの「夢」や「希望」を知覚する>、<自分自身の持つ文化・芸術の可能性に気付き、思い浮かんだ夢を諦めることなく、未来に希望を持つ>、<文化・芸術が持つエンターテインメントは、子ども自身や家族、仲間をも含めたたくさんの人々に笑顔をもたらす>、<音楽や美術を介して自分の気持ちを伝える、他者を理解する、の双方向の大切さを学ぶ>の効果を得ることは十分に叶った。

※新たな企画である「シルクスクリン」だから参加したという子は、実際にその旨を伝えて下さった保護者さまは 2 名いらっしまった。

※初めて徴収した 500 円の参加費に対して拒絶や反対の意見は 1 件も無かった。

※参加した子どもの感想の声：一部抜粋

◎「これ持って帰ったらうちでも他のシャツに版画出来るの？楽しかったー。バイオリンも習いたくなっちゃった。」

◎「知らない技(シルクスクリン)をデコピン先生に教えてもらって、今回の版画が好きになりました！」

◎「絵の具で描くといつも上手に描けないけど、この教室に参加したら、少し上手にバッグに写すことが出来たので嬉しい！これは宝物！」

◎「授業より集中したよ！音楽のせい？なんかずーっとワクワクしてた！今もかも！デコピン先生ありがとう！」

※保護者さまから頂いた感想の声：一部抜粋

◎「デコピン先生の作品を見せてもらうたび「え～！私には無理！」と言っていた子どもの作品が、デコピン先生たちの指導の元で進めていくうちに信じられないほどの完成度の高い作品が仕上がっていて驚きました。驚きが次第に喜びに変わり「私にはできない」という自分を否定する心がいつしか「私にもできる」という自分を肯定する心が変わっていったことが分かりました。親としては素直に子どもをたくさん誉めてあげたいです！」

◎「子どもにとっては、自分の思い描いた色として発色しなかった時でも想像よりも良いものができたりしたのが今回の不思議なサン描画体験でした。今回の体験教室は子どもの潜在意識に触れることができたような気がするというのが特徴だったと思います。ありがとうございました！」

◎「本人の第一声は「楽しい！」でした。私も後ろから集中している姿を見て、今回の機会を頂けたことに感謝しています。また参加したいです。どうぞよろしくお願い致します。」

◎「家ではワンパターンの絵ばかり描いていましたが、今回の教室では色々な絵を描いたので嬉しいです。デコピン先生と次いつ会えるのかを楽しみにしています。娘は将来絵描きさんになりたいようです。これからもよろしくお願いします。」

◎「汚れるのが気になって家の中ではあまり絵の具を使わせてあげられないので、今回はのびのびと絵が描けて楽しそうでした。あんなに素敵なトートバッグや T シャツに版画出来るのかなぁと思っていたのですが、完成できて本人も満足そうです！！」

◎「とても楽しかった様子で、絶対にまた行きたい！と生き生きした表情でいます。これからよろしくお願いします。」